

# いわき市地域情報化推進計画 概要版

## 第1章 計画の策定にあたって (P2~3)

### 1 計画策定の趣旨 (P2)

ICTの進展に適切に対応し、本市のまちづくりに向けた情報化を計画的に進めるため、これまでの「新・いわき市地域情報化計画(H23-H27)」を継承し、今後も積極的に情報化を「推進」していくため、新たに「いわき市地域情報化推進計画」を策定するものです。

### 2 計画の位置づけ (P2)

- 「新・いわき市総合計画後期基本計画」の部門別計画
- 各種施策を情報化の視点から総合的・体系的に整理し展開

### 3 計画の期間 (P3)

平成28年度～平成32年度(5年間)

## 第2章 計画策定の背景 (P6~11)

### 1 社会情勢の変化 (P6~7)

#### (1) 人口減少と少子高齢化

市将来人口の推計によると、2010年には342,249人であった人口が2060年には153,875人にまで減少し、高齢化率は、2010年に25.1%であったものが、2060年には50.1%まで上昇すると見込まれます。

#### (2) 東日本大震災と原子力発電所事故の影響

- 震災時の情報伝達手段としてのスマートフォン等の役割
- 震災の経験による、安全・安心に対する意識の高まり
- 農林水産業における、風評払拭のための積極的な情報発信

### 2 インターネットの普及とICTの進展 (P7~9)

#### (1) インターネットとモバイル端末の大幅な普及

本市のインターネット普及率はH26のアンケート調査の結果、74.7%となっており、前回調査時(H21)より24.7ポイント上昇しました。

#### (2) ソーシャルメディアの発達

市民アンケート調査の結果においても、59.4%の方が利用しており、情報発信のツールとして大きな役割を果たしています。

#### (3) マイナンバー制度の実施

H27.10から段階的に開始され、今後、他分野や民間での活用、また、個人番号カードの活用が期待されます。

### 3 国の動向 (P9~10)

世界最高水準のIT利活用社会の実現に向けて、H25.6に「世界最先端IT国家創造宣言」を閣議決定し、取組みを一層促進

### 4 県の動向 (P11)

H27.3に「福島県情報化推進計画“ふくしま創生ICT戦略(2015-2017)”」を策定し、各種施策を展開

## 第3章 これまでの情報化への取組み (P14~16)

### 1 平成14年度から平成22年度まで (P14)

H14年度に「いわき市地域情報化基本計画(H14-H22)」を策定し、地域情報化という視点から情報化施策に本格的な取組みを開始し、市地域イントラネットの整備等の基盤整備を推進しました。

### 2 平成23年度から平成27年度まで (P15)

前計画を引き継ぎ、さらなる市民サービスの向上に向け、H22年度に「新・いわき市地域情報化計画」を策定し、オープンデータの推進等に取り組むとともに、東日本大震災を受け、安全・安心を確保するため、防災市民メールの配信等、各種施策を実施しました。

### 3 今後も取り組むべき事業 (P16)

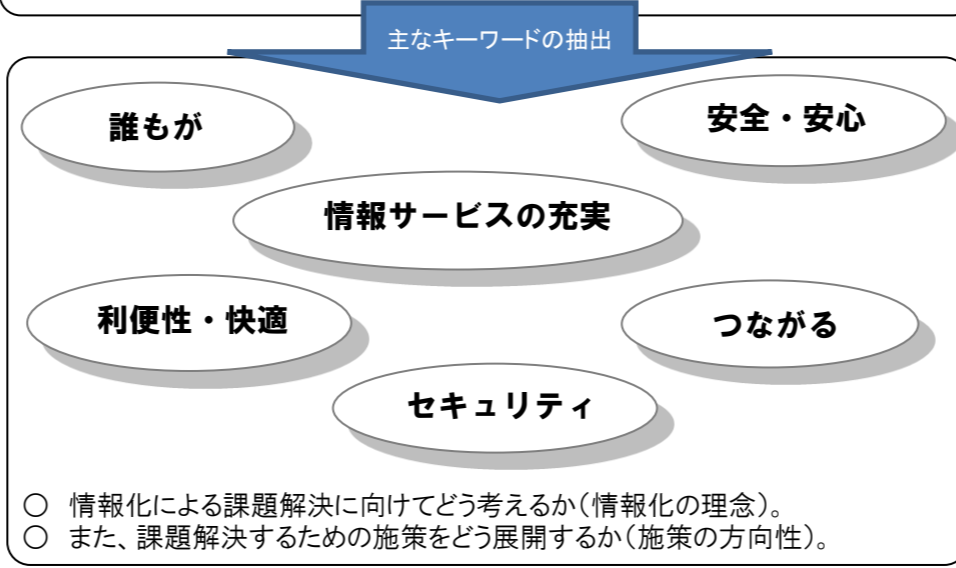
セキュリティの強化等、社会情勢の変化等により、新たな課題が発生した事業等については、次期計画においても、引き続き取り組みます。

## 第4章 本市が解決すべき課題の整理 (P18~19)

### 1 本市が抱える課題 (P18~19)

アンケート調査の分析結果も含め、本市が解決すべき課題を整理しました。

- (1) 社会情勢の変化  
人口減少と少子高齢化対策、震災を踏まえての安全・安心な生活の実現
- (2) 情報通信技術の進展への対応  
インターネットの生活定着化への対応、SNS等様々な情報発信手法の活用
- (3) 国の動向を踏まえた課題  
革新的な新産業・新サービスの創出と全産業の成長を促進する社会の実現
- (4) 県の動向を踏まえた課題  
復興への取り組み、産業振興・地域活性化、安全・安心、防災への対応
- (5) アンケートから抽出した課題  
モバイル端末に対応した施策推進、学校における情報モラルの向上 等



## 第5章 情報化の理念と施策の方向性 (P22)

### 1 情報化の理念 (P22)

ICTの活用により、地域の誰もが、情報によりつながり、安全・安心が確保され、快適に生活を送ることが可能なまちづくりを支えていきます。

みんながつながる安全・安心で快適なまち いわき

### 2 情報化施策の方向性 (P22)

(基本方針1)ICTによる安全・安心で元気なまちづくり

ICTを活用することにより、防災・防犯を推進し、災害時における対応等も十分に行うなど、誰もが安全に安心して暮らすことができ、また、健康で活気のある元気なまちづくりを進めます。

(基本方針2)ICTによる魅力のあるまちづくり

ICTを活用することにより、将来の世代を担う子どもたちの育成を支援し、また、各種産業分野において、本市の付加価値を高めることにより、魅力あるまちづくりを進め、積極的に情報を発信するなど、豊かないわきの実現を目指します。

(基本方針3)ICTによる満足度の高い行政サービス

ICTを活用することにより、市民の方が最高の行政サービスを受けられるよう、事務の効率化を進めるとともに、既存のシステムについても最適化を図るなど、効率的な行政運営の実現を目指します。

(基本方針4)ICTを快適に利用するための仕組みづくり

ICTによる恩恵を、誰もが、どこでも、いつでも享受できるようにするため、快適に利用可能な情報通信基盤の整備や、安全に利用するための情報セキュリティ対策、さらには地域全体の協働による情報化を推進します。

## 第6章 情報化施策の柱と施策 (P24~58)

### 1 施策の柱と施策 (P24~26)

4つの基本方針に対し、9つの施策の柱、19の具体的な施策を設定します。

基本方針		施策の柱と施策
基本方針1	ICTによる安全・安心で元気なまちづくり	1 安全・安心への取組み ○ 防災・防犯の推進 ○ 災害時における対応 ○ 安全な生活の確保
		2 元気なまちづくりの推進 ○ 情報共有とコミュニケーションの活性化 ○ 保健・医療・福祉サービスの充実
基本方針2	ICTによる魅力のあるまちづくり	3 こどもの健やかな育成支援 ○ こどもの健全育成と子育て支援の推進 ○ 教育支援と情報教育の実施 ○ 生涯学習の充実
		4 産業の振興と経済の発展 ○ 各種産業における情報化と情報発信 ○ 新産業の創出促進
基本方針3	ICTによる満足度の高い行政サービス	5 情報システム導入による市民サービスの向上 ○ 情報システムを活用した快適な暮らしの推進 ○ 行政手続きのオンライン化の推進
		6 行政内部の業務効率化と情報システムの最適化 ○ 業務への情報システムの活用 ○ 庁内業務システムにおける運用の最適化
基本方針4	ICTを快適に利用するための仕組みづくり	7 情報基盤の確保 ○ 情報通信基盤の整備 ○ 利用者の情報活用能力の向上
		8 情報セキュリティの確保 ○ 情報セキュリティ対策の強化と普及・啓発
		9 推進体制の強化 ○ 地域情報化推進体制の整備 ○ 庁内推進体制の整備

### 2 重点的に進める事業 (P27~28)

本計画を推進する上で特に重要となる5つの事業を重点事業として設定します。

- ・官民連携によるオープンデータの推進
- ・マイナンバー制度の導入と活用
- ・情報システム監査の実施
- ・公衆無線LANスポットの追加整備と運用
- ・新たな地域情報化推進体制の構築

### 3 情報化事業 (P29~58)

情報化によるまちづくりを実現するための具体的な事業を掲げます。

【新規事業23件+継続事業141件=合計164件】

## 第7章 施策の推進 (P60~61)

### 1 地域の推進体制 (P60)

- (1) いわき市地域情報化研究会を中心とした推進と更なる推進体制の検討
- (2) 市民や事業者、NPO団体等との協力体制
- (3) 国・県、他地方自治体等との連携

### 2 庁内の推進体制 (P60~61)

いわき市地域情報化推進本部及び幹事会により全庁的な体制で推進

### 3 計画の進行管理 (P61)

- (1) 毎年度の計画の見直し
- (2) 事業の進行管理